

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく
留萌川の減災に関する
取組方針（改訂案）について

令和3年6月

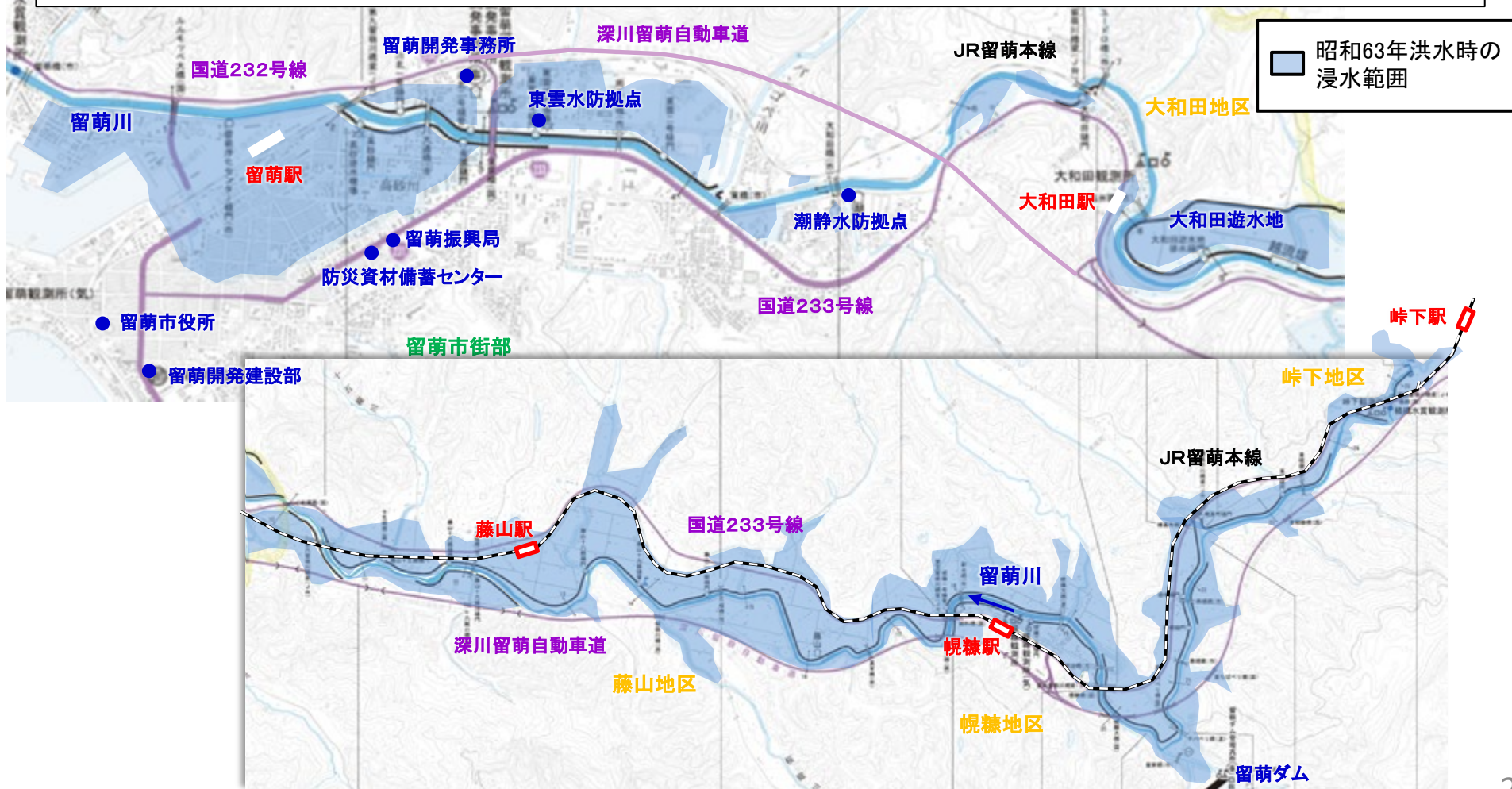
留萌川減災対策協議会

本資料は、令和3年度～令和7年度の
留萌川の減災に関する取組方針を
示した資料です。

1. 留萌川の概要と主な課題～留萌川の地形的特徴～

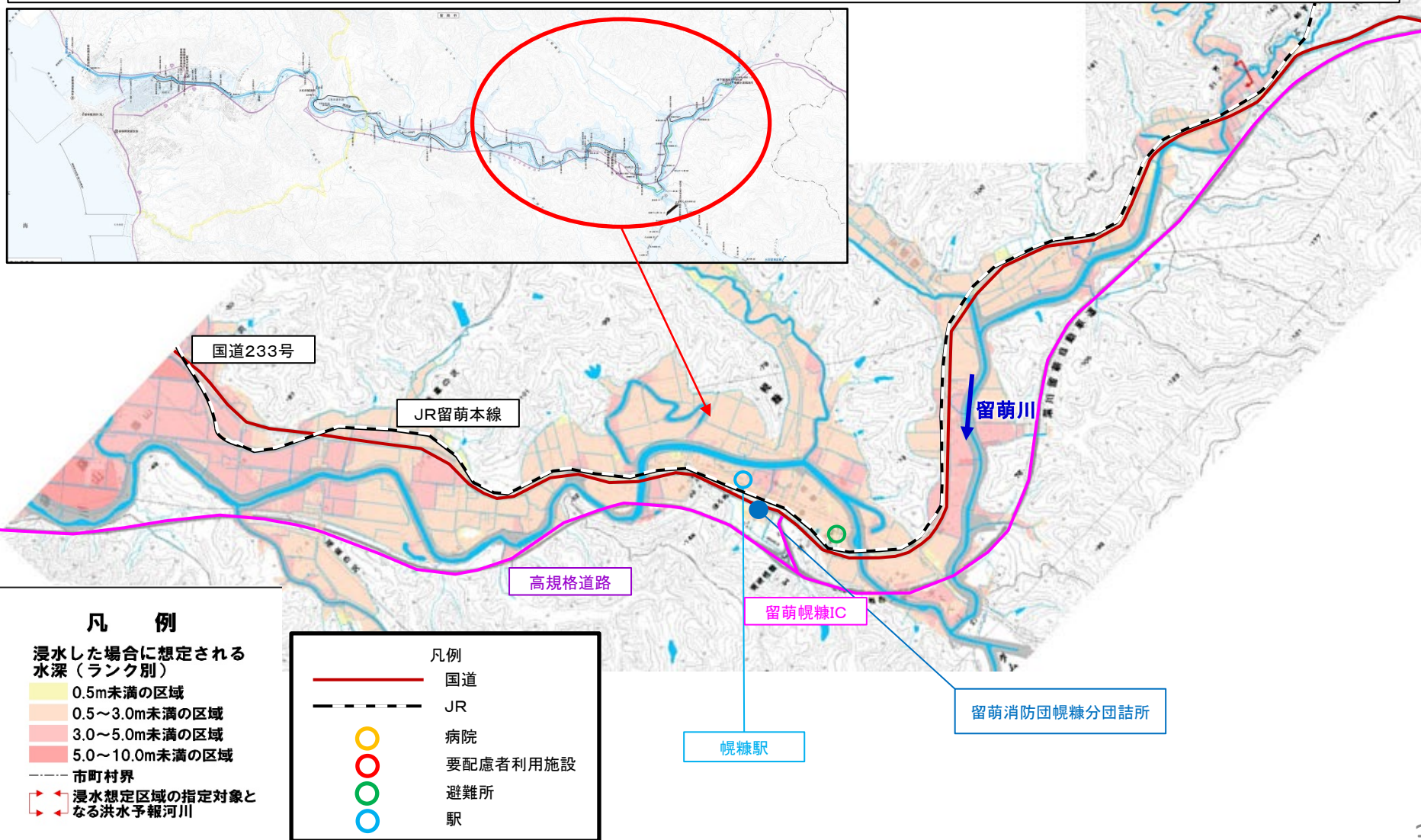
- ① 山地に挟まれた地形(谷底を流れるような地形)を流下することから、流域内に降った雨は短時間で留萌川に集中する。
- ② 中上流部では狭隘な低平地が河川沿いに分散し、集落が形成されており、下流部では三角州状の低平地に留萌市街地が形成され、留萌川が市街中央部を貫流する。

昭和63年洪水では急激な水位上昇が観測され、市街地の1/3が浸水した。



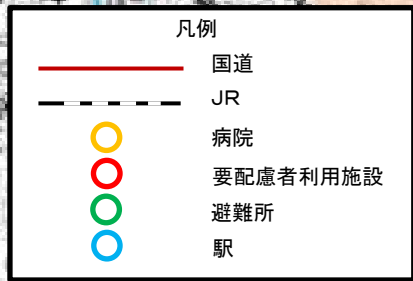
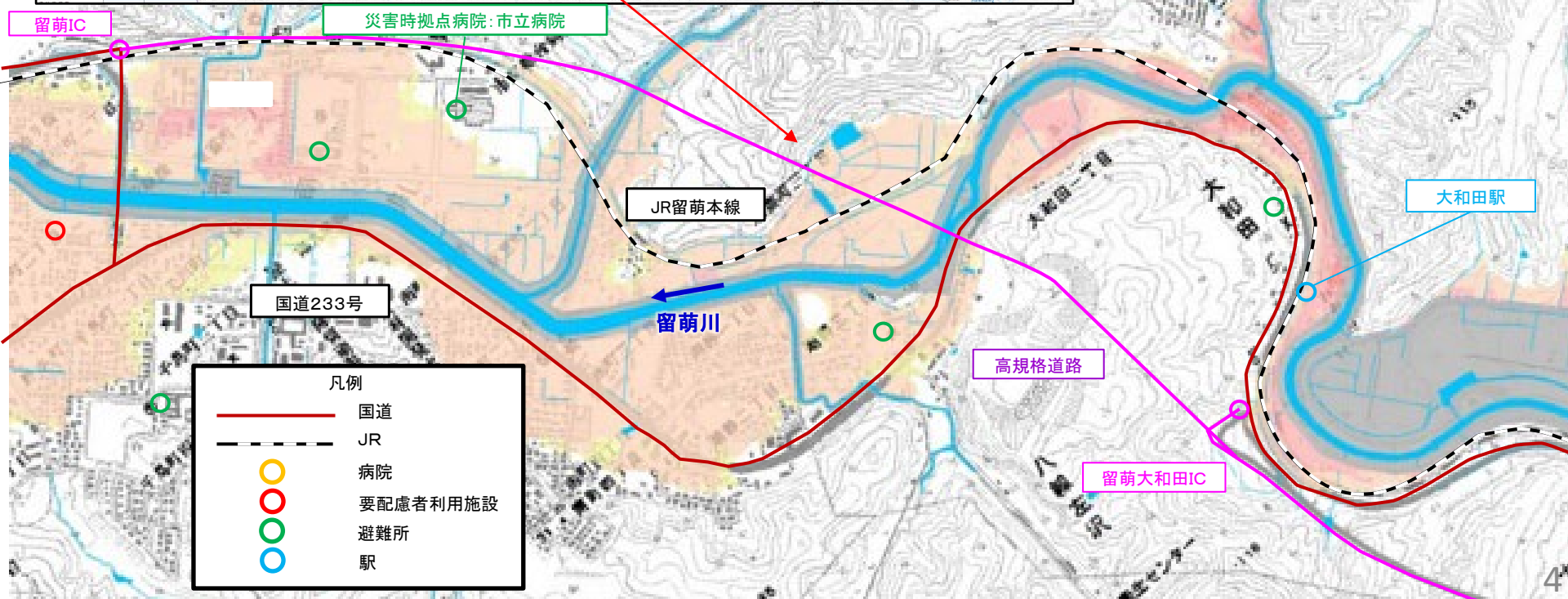
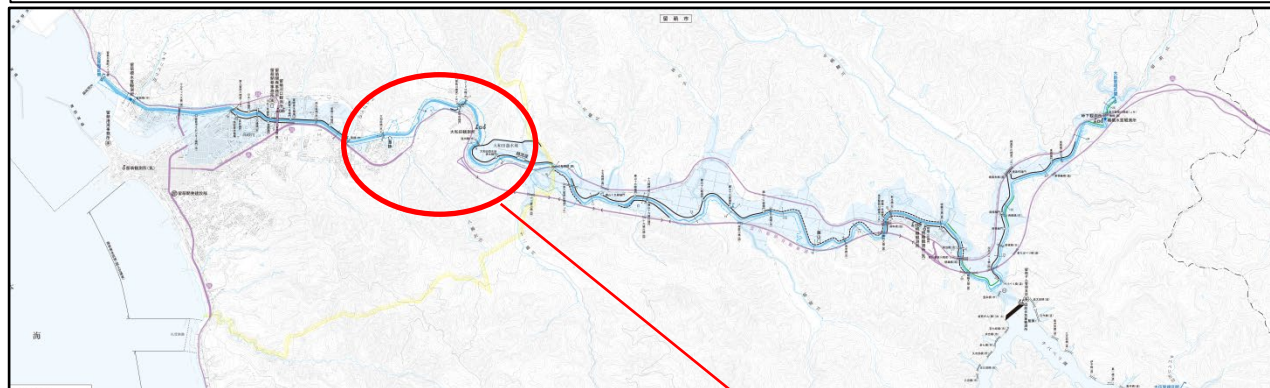
1. 留萌川の概要と主な課題～留萌川流域の主な課題(上流部)～

上流部の集落が位置する狭隘な低平地はほぼ全域にわたり浸水し、住宅のみならず、近傍の避難所施設においても浸水のおそれがある。加えて分散する地区を結ぶ国道233号線をはじめとする避難路が途絶するおそれがある。



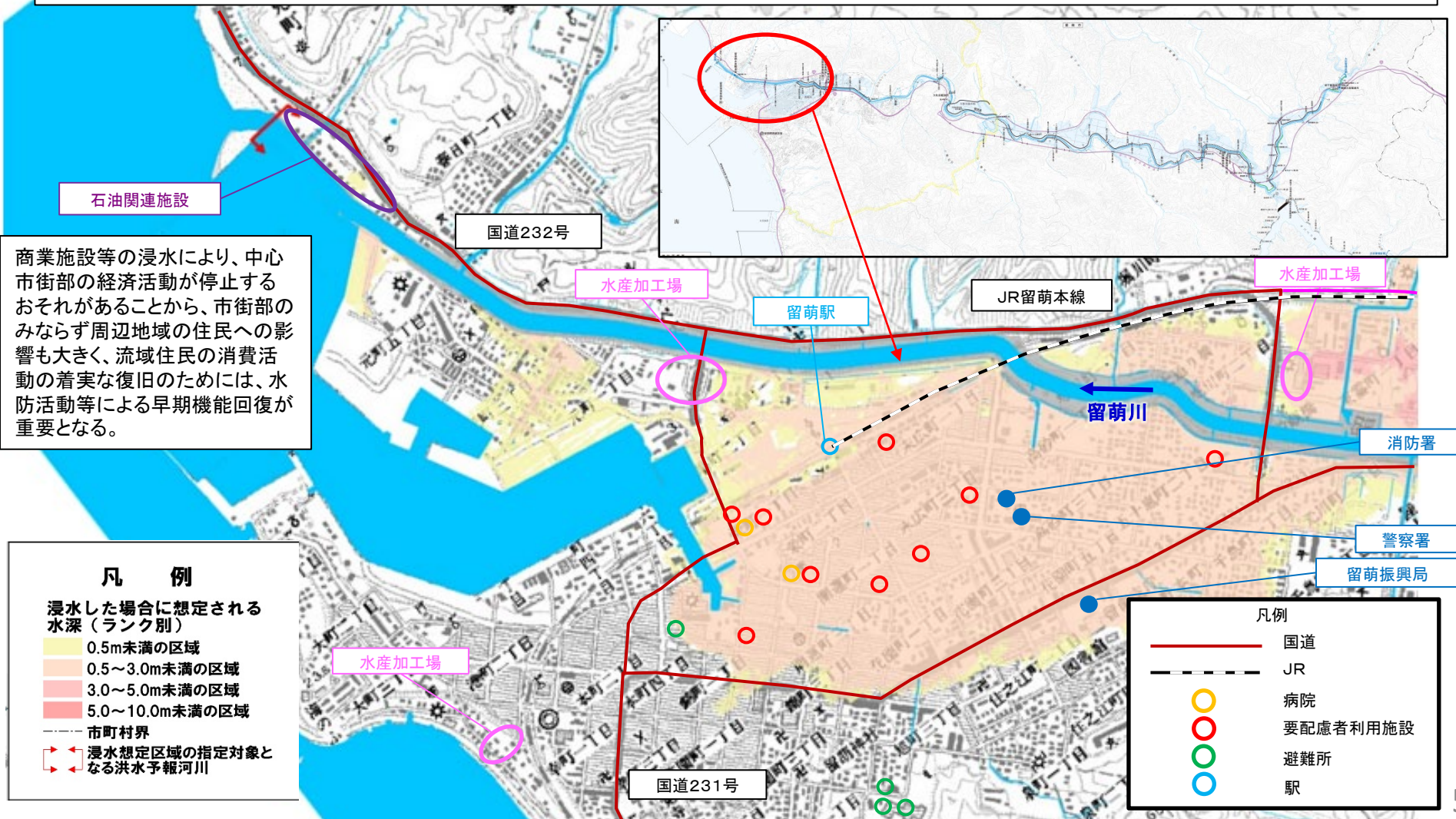
1. 留萌川の概要と主な課題～留萌川流域の主な課題(中流部)～

留萌市街部から高規格道路に至る国道233号線が、浸水により通行止めとなり、上流で浸水が生じた場合の負傷者等の災害時拠点病院への搬送や、留萌市街地への避難が困難となることに加えて、周辺市町村からの支援受入に時間を要するおそれがある。



1. 留萌川の概要と主な課題～留萌川流域の主な課題(下流部)～

留萌中心市街部では、氾濫水の到達が速く、早期に避難困難水位に達することに加え、氾濫水の広がりにより、広範囲にわたり1階部分が水没する懸念がある。当該地区には住宅等が高密度で分布しており、災害時要配慮者利用施設も複数存在することから、高台の避難所施設への水平避難や、施設内における垂直避難の迅速な実施が必要となる。



2. 現状の取組状況

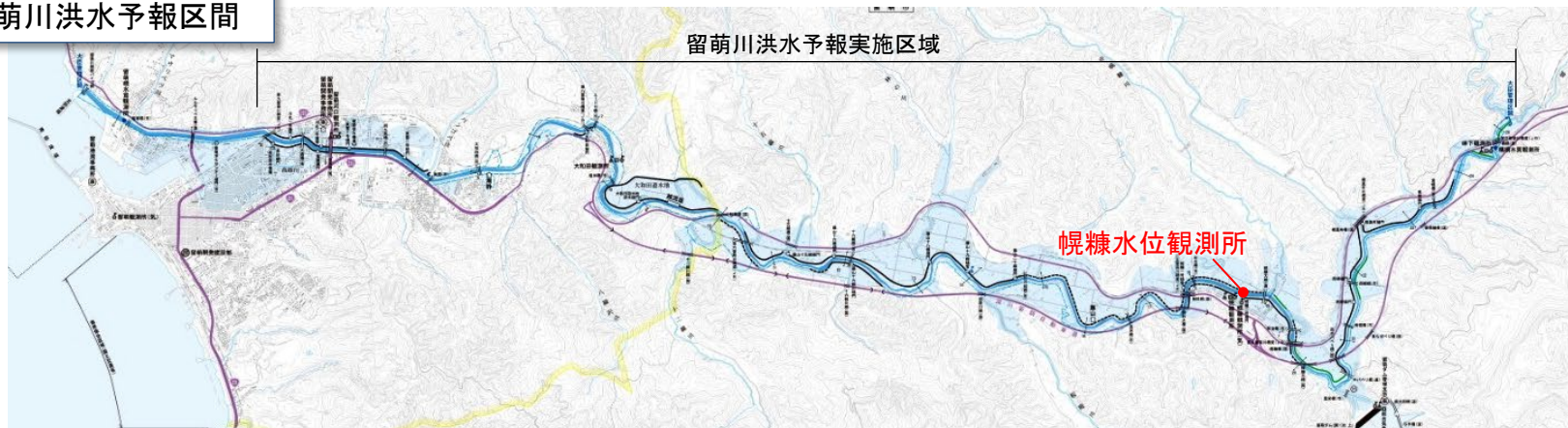
①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難指示等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

現状

- ・ 避難指示の発令の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を実施している。
- ・ 重大災害の発生のおそれがある場合には、留萌開発建設部長から留萌市長に対して情報伝達（ホットライン）をしている。
- ・ 重大災害の発生のおそれがある場合、関係自治体、機関と情報共有を図っている。
- ・ 河川情報については、インターネット等を活用して入手している。
- ・ 被災情報や避難指示などの情報については、振興局及び留萌市の災対本部等より入手している。

■留萌川洪水予報区間



課題

A

- ・ 洪水予報等の防災情報が受け手側にとってわかりにくいこともあり、防災情報の持つ意味や、防災情報を受けた場合の対応について住民等の認識が不十分であることが懸念され、継続的な周知が必要

3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難指示等の発令基準』、
『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・ 避難指示等の発令に着目したタイムラインを作成している。
- ・ 避難指示等の発令に関する内容を地域防災計画に記載し、その内容に基づき発令している。

課題

B

- ・ 避難指示等の発令に着目したタイムラインの運用実績が現時点では無いことから、訓練を通じた精度向上と合わせて、円滑な運用を可能とするために、各地域における避難指示等の発令タイミングや、避難情報の伝達方法等を予め整理することが求められる。

C

- ・ 現行の地域防災計画には、水位に対応した避難指示等の発令基準や、発令対象地区が明確に記載されておらず、災害時要配慮者利用施設等への情報伝達の手法等が定められていない。

C'

- ・ 住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムラインの作成サポートを充実させる。

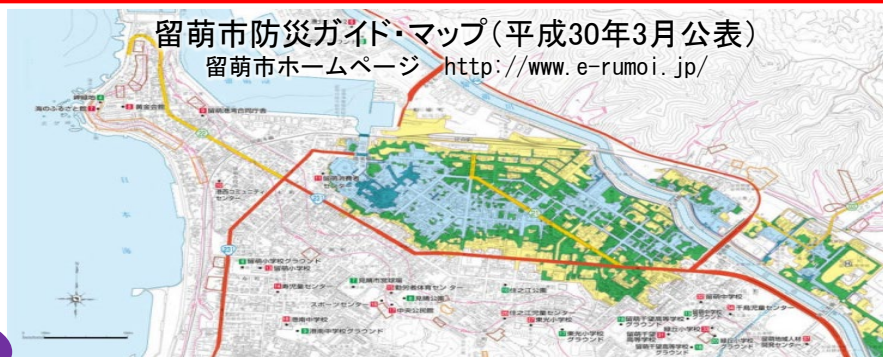
3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難指示等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・ 浸水想定区域図に基づき、洪水ハザードマップを作成し浸水範囲、避難所、避難場所を周知している。また、まるごとまちごとハザードマップを設置している。



まるごとまちごとハザードマップ設置状況



課題

D

- ・ 浸水想定区域図に記載された浸水深等の情報が災害リスクとして十分に認識されていないことが懸念される。

E

- ・ 避難経路を指定していないため、いざという時に避難路が浸水しているなど、適切に行動できないことが懸念される。

F

- ・ 市街地の大部分が浸水する可能性があるため、多くの避難者が集中した場合には、避難所施設が不足することが懸念される。

G

- ・ 広範囲の浸水により、近傍の避難場所を利用できないことが懸念される。

H

- ・ 中上流部では国道の浸水により、災害拠点病院への搬送等が困難となることが懸念される。

3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難指示等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・ 河川水位、洪水予報等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- ・ 避難に関する情報や避難の際の注意情報を、防災無線、広報車等により伝達するとともに、FMもえるを活用した情報発信も実施している（インターネット配信も実施しており、スマートフォン等でリアルタイム情報取得が可能）。
- ・ 消防計画や地域防災計画等に基づき、警戒レベル4（避難指示）の住民への情報伝達を支援している。

- ・ 避難誘導は、地域防災計画に基づき市職員、警察、水防団が実施している。

課題

I

- ・ 高気密性住宅が多いことに加え、風雨などの騒音等により、音声による情報の聞き取りが困難となることが懸念される。

J

- ・ 高齢者など一部の住民に伝わっていない可能性がある。文字・水位情報のみでは分かりにくく、伝えたい情報が正しく伝わっていないことが懸念される。

K

- ・ 地域防災計画には、市職員、警察、水防団が適切かつ迅速に避難誘導を行うこととされており、迅速な活動のためにより連携が求められる。

3. 現状の取組状況

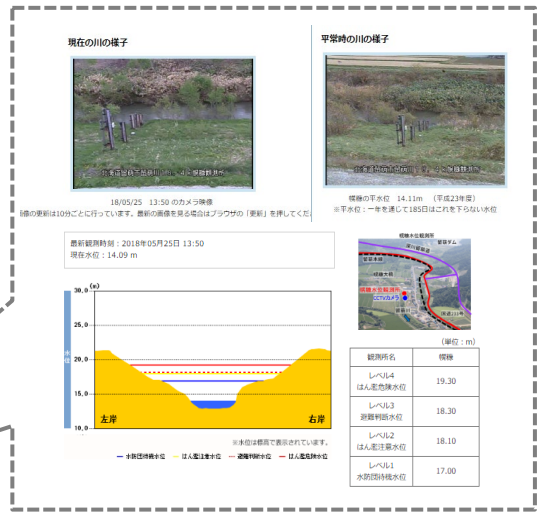
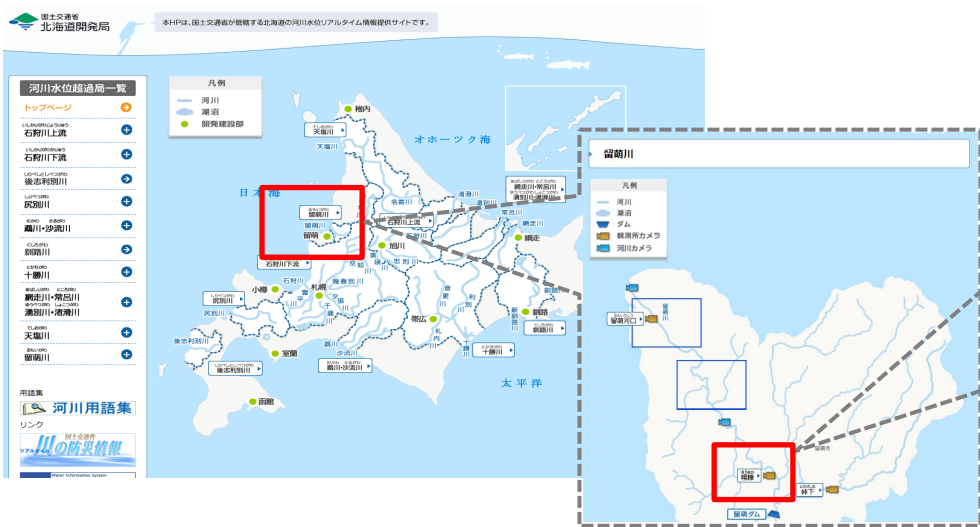
②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- 河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- 基準観測所の水位により水防警報を発表している。

国土交通省北海道開発局
河川リアルタイム情報



課題

- 河川水位、洪水予報、水防警報、重要水防箇所等の情報をどのように活用すべきなのか、個々の水防団員への周知が不十分である。

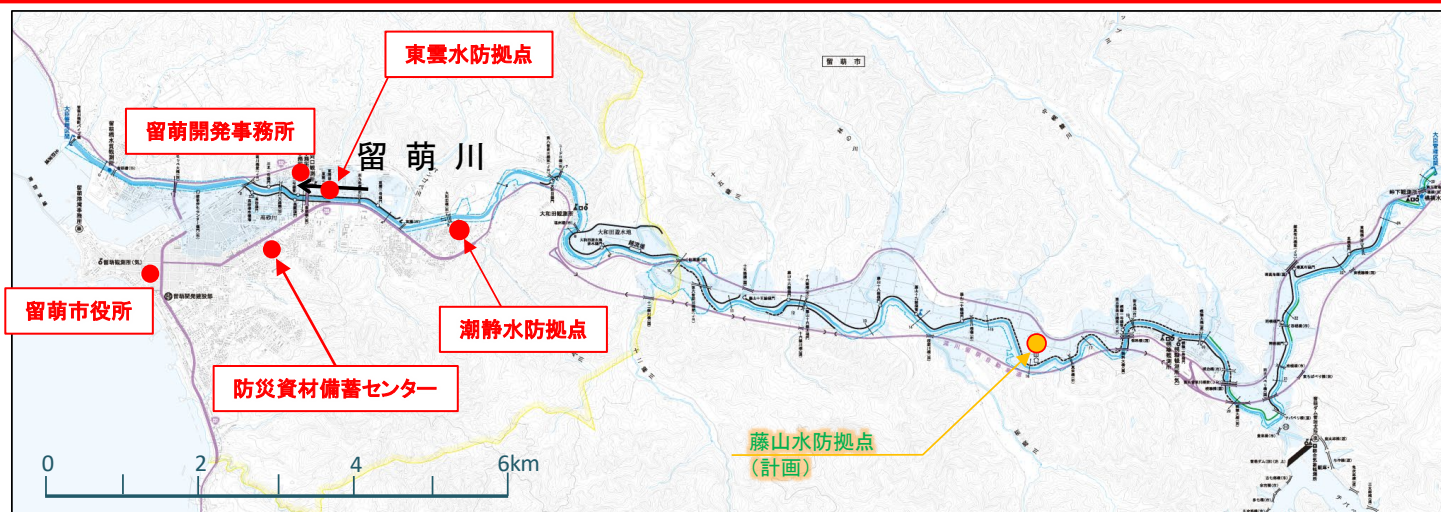
3. 現状の取組状況

②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- ・ 平常時に水防活動の効率化を図るため、住民、関係機関と水害リスクの高い箇所
の合同巡視を実施しており、出水時には水防団等と河川管理者がそれぞれ河
川巡視を実施している。
- ・ 地域防災計画に基づき、出水時には水害の危険性の高い地域への巡視を実施。
- ・ 水防資機材は各関係機関で、事務所・水防拠点等に保有している。



課題

M

- ・ 住民を含む合同巡視が対象地区全てでは実施されておらず、リスク情報の周知が充分とは言えない。

N

- ・ 中上流部における水防資機材保管場所が確保されていないことから、資機材搬入時間の短縮が求められる。

3. 現状の取組状況

②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- ・ 自助・共助による災害に強い地域づくりを目指し、自主防災組織への助成金制度を新設するとともに、広報誌や市のHPなどで自主防災組織の結成促進に取り組んでいる。



留萌市市民防災訓練（平成26年8月30日実施）

課題



- ・ 水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が少ないこと、水防団員が減少傾向であることから、作業を的確にできないことが懸念される。

3. 現状の取組状況

③ 氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

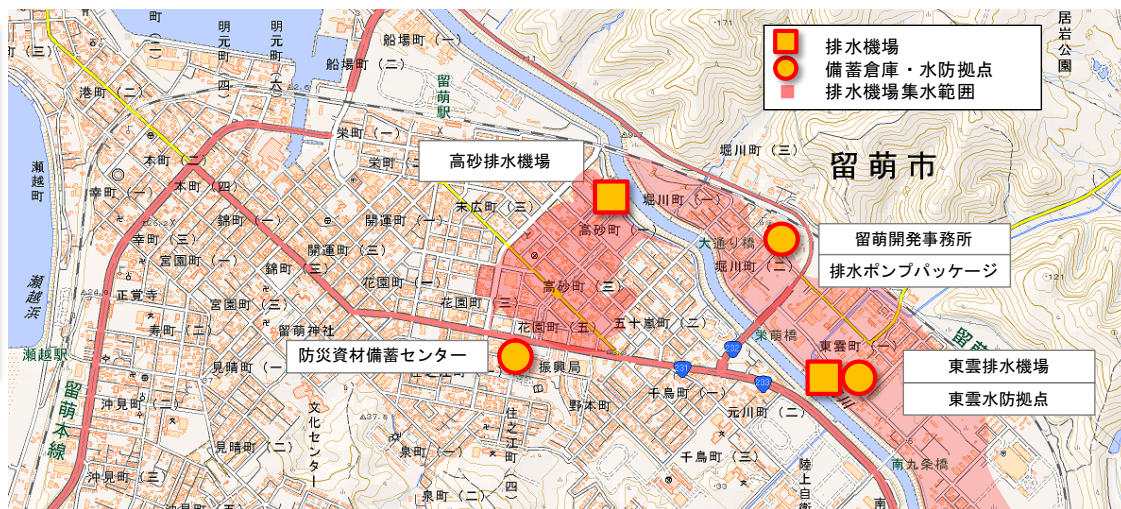
『排水施設、排水資機材の操作・運用』、『既存ダム・遊水地における洪水調節の現状』

現状

- ・ 関係機関と連携した排水訓練を実施している。
- ・ 水防資機材は事務所、水防拠点等に保有しており、非常時には水防団等への貸し出しが可能である。



関係機関と連携した排水訓練



課題

P

- ・ 大規模浸水時に早期に排水を行うため、既存の排水施設、排水系統を把握し、関係機関の連携による排水計画を検討する必要がある。

Q

- ・ 広域的な資機材等の保有状況や、非常時における支援要請手順について、共有が不十分である。

3. 現状の取組状況

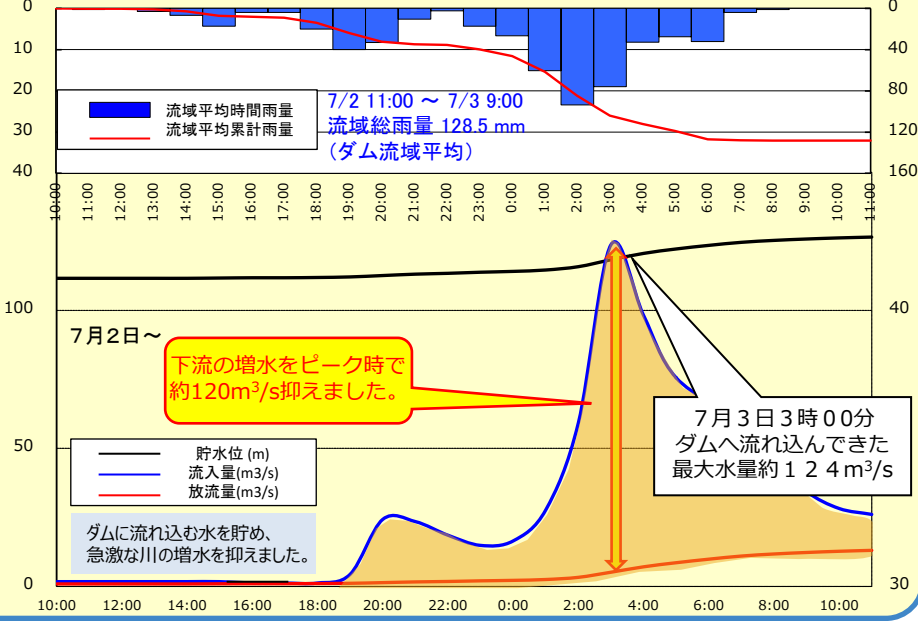
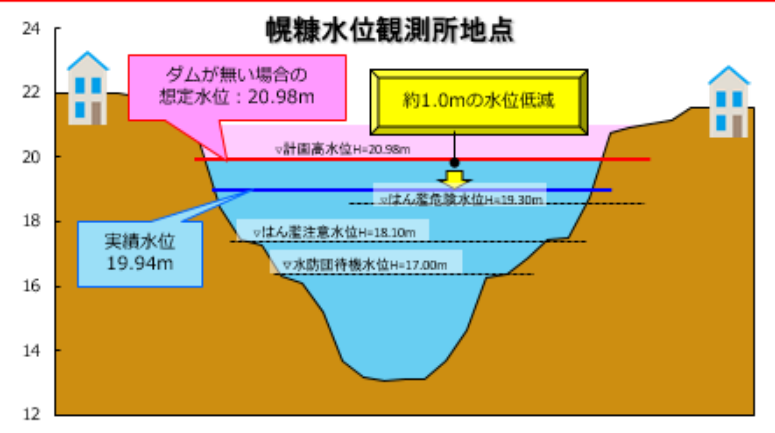
③ 氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

『排水施設、排水資機材の操作、運用』、『既存ダム・遊水地における洪水調節の現状』

現状

・平成22年4月より留萌ダムの運用を開始し、洪水調節により、平成30年7月洪水時には約1mの水位低減効果(幌糠水位観測所)を発揮している。

平成30年7月洪水時の効果



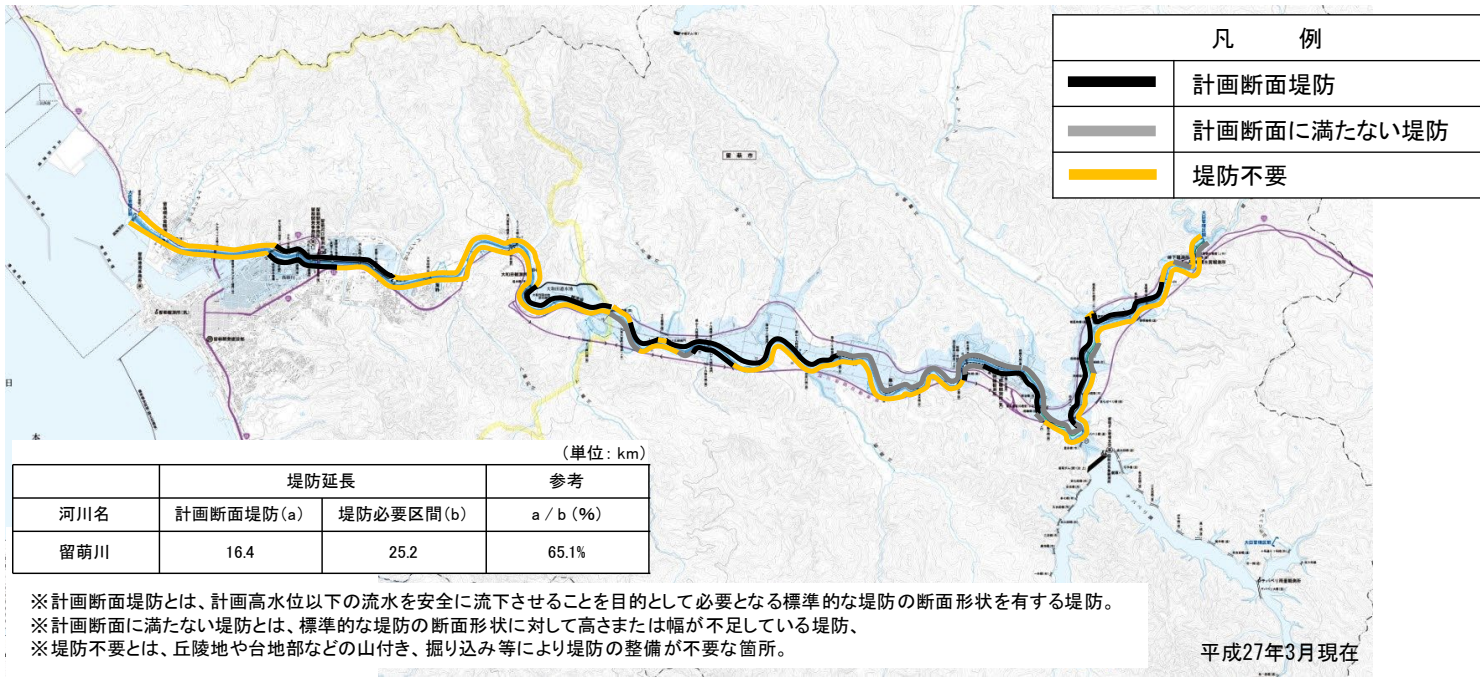
3. 現状の取組状況

④河川管理施設の整備に関する事項

『堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備内容』

現状

- 計画断面に満たない堤防に対し、早期に嵩上げを実施するため、中流部で堤防整備を実施している。



課題

R

- 無堤地区や計画断面に対して高さや幅が不足している堤防があり、洪水により氾濫する恐れがある。

4. 減災のための目標

■ 5年間で達成すべき目標

留萌川の大規模水害に対し

「迅速・確実な避難」、「社会経済被害の最小化」を目指す
～急激な水位上昇に対応可能な迅速・確実な避難と氾濫域の洪水被害軽減を図る～

■ 上記目標達成に向けた3本柱

留萌川において水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、下記の取組を実施。

1. 急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な**避難行動のための取組**
2. 社会経済被害軽減のための的確な**水防活動に関する取組**
3. 社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の**排水、施設運用等に関する取組**

5. 概ね5年で実施する取組

1) ハード対策の主な取組

■洪水を河川内で安全に流す対策 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2) ソフト対策の主な取組

①急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図に基づいた避難場所・方法の見直し、避難経路の検討
- ・道路管理者との連携による、高規格道路の活用も含めた避難経路及び、避難行動の遅れに備えた高規格道路沿道施設の活用等の検討
- ・タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上
- ・住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる
- ・避難のための時間等を考慮した避難指示等の判断・伝達マニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し
- ・高齢者における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進
- ・分かりやすい洪水予報伝文への改良
- ・気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画作成・訓練の実施

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知
- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまちごとハザードマップの作成と周知
- ・小学生を中心とした留萌川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
- ・関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催
- ・コミュニティFM放送やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実

※下線は令和3年度改訂方針における追加項目・変更箇所

②社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ・毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施
- ・関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施
- ・迅速な水防活動を支援するため、中上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実
- ・的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る
- ・自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認

■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

- ・浸水想定区域内の拠点施設(警察、病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進

③社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

- ・想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
- ・訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害対応車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■洪水を河川内で安全に流す対策

課題対応: R

○河道掘削(留萌市街地区、樽真布地区)【継続実施:留萌開発建設部】



6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応: **I** **J**

- スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築【継続実施: 留萌開発建設部、旭川地方気象台】
- 洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築【継続実施: 留萌開発建設部、旭川地方気象台】
- 高齢者に配慮し、防災ラジオなどの様々な情報伝達手段の整備を検討【継続実施: 留萌市】

課題対応: **N** **P**

- 水防拠点の整備、排水機場の耐水化(藤山地区、留萌市街地区)【継続実施: 留萌開発建設部】

◆スマートフォンを活用した情報提供【地方気象台】

■ YouTubeによる緊急記者会見の生中継 (令和2年3月～)

気象庁自らYouTubeによる「緊急記者会見」の生中継を行うことで、より多く皆様に気象庁の危機感を伝えることができ、防災行動へ繋がることが期待される。

気象庁公式YouTubeチャンネルURL
<https://www.youtube.com/channel/UCajQ4ZQJrgwSxkF6xaCfrRw>



6. 概ね5年で実施する取組～川の水位情報(水位情報の閲覧)

国土交通省
川の防災情報
“気象”“水害”“土砂災害”
情報マルチモニター

操作説明

全国 北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄 未登録

最新情報

全国の状況 その他の情報

ダム放流通知

レーダ画像 (XRAIN)

気象情報・気象情報、土砂災害警戒情報

河川カメラ(→全国のカメラへ)

川の水位情報

洪水の危険性が高まっている河川

洪水予報、水位到達情報

洪水キキル(危険度分布)

関連サイト

リンク集

QRコード

<https://www.river.go.jp/portal/#80>

課題対応: I J

水位計アイコンをクリック

アイコンを選択して河川横断面図、水位グラフへの切り替え可能

【河川横断面図アイコン】

アイコンを選択すると、河川横断面図が表示されます。河川部分に水面の位置と堤防天端高からの高さが表示されます。水面の位置は、青い点線で横断面図上に表示されますので、河川横断面図を左右にスクロールすると、付近の地盤高と水面の位置関係を確認出来ます。

20

6. 概ね5年で実施する取組～川の水位情報(河川カメラの閲覧)

国土交通省 川の防災情報 情報マルチモニタ

全国 北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄 未登録

最新情報

全国の状況 その他の情報

ダム放流通知 レーダ雨量 (XRAIN) 気象情報・注意報、土砂災害警戒情報 河川カメラ(全国のカメラへ)

川の水位情報

洪水の危険性が高まっている河川

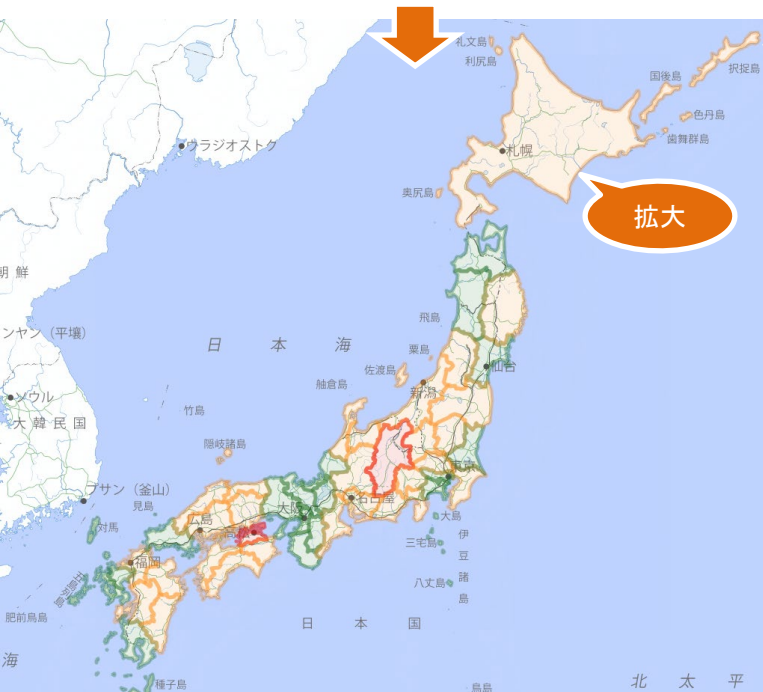
洪水予報、水位到達情報

洪水キキル(危険度分布)

QRコード

クリック

<https://www.river.go.jp/portal/#80>



課題対応: I J

河川状況を静止画で確認することができます



6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: E F G

○想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図に基づき、避難経路途絶前の下流域への避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画へ反映 【継続実施: 留萌市】

課題対応: E G

○道路管理者との連携による、高規格道路の活用も含めた避難経路及び、避難行動の遅れに備えた高規格道路沿道施設の活用を検討【継続実施: 留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、道警、自衛隊】

課題対応: B K

○タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上
【継続実施: 留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市、消防、道警、自衛隊、JR】

課題対応: C'

○住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる
【～令和7年度: 留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市】

課題対応: B C

○各地域における避難指示等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての市職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し 【継続実施: 留萌市】

課題対応: C E

○高齢者における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進 【継続実施: 留萌開発建設部、留萌市、消防、道警、自衛隊】

課題対応: A

○分かりやすい洪水予報伝文への改良 【継続実施: 留萌開発建設部、旭川地方気象台】
○気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善 【継続実施: 旭川地方気象台】
○要配慮者利用施設における避難確保計画作成・訓練の実施【～令和7年度: 留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市】

■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: B C K

令和2年度に実施した取り組み内容(留萌市)

市内防災連絡員へのメールを活用した情報伝達訓練の実施

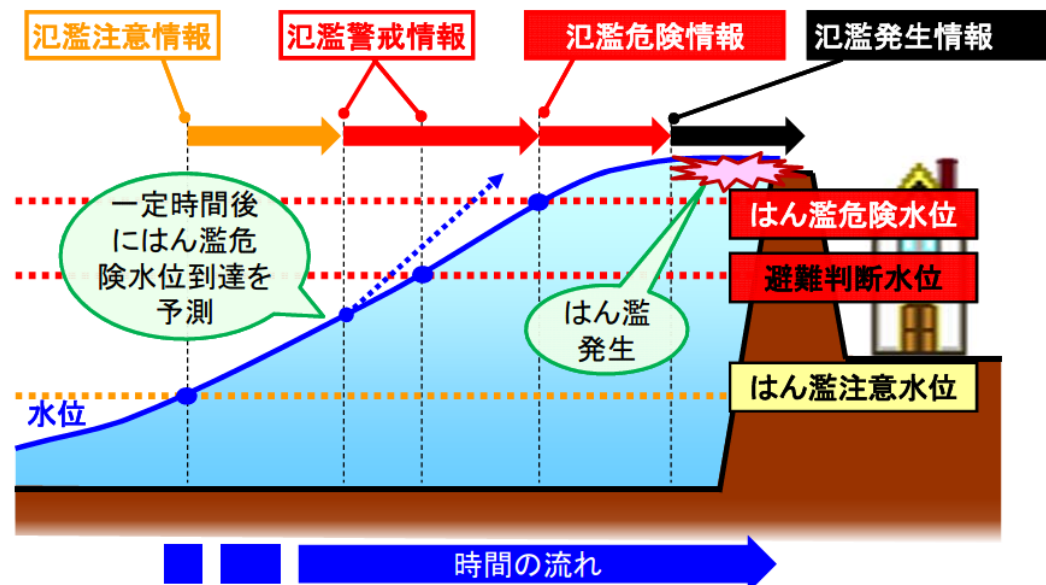
○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年行っているような市民防災訓練は中止し、市役所から登録された防災連絡員に対する情報伝達訓練を実施



6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: A



洪水予報文(主文)の改良例

改良前

〇〇川では、はん濫危険水位(レベル4)に到達し、はん濫のおそれあり

〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、避難勧告等の発令の目安となる「はん濫危険水位(レベル4)」に到達しました。〇〇市、〇〇市、〇〇町では、〇〇川の堤防決壊等によるはん濫により、浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。

改良後

【警戒レベル4相当情報[洪水]】〇〇川では、当分の間、はん濫危険水位付近の水位が続く見込み

【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、当分の間、「はん濫危険水位」付近の水位が続く見込みです。〇〇川では堤防決壊等によるはん濫のおそれがあり、〇〇市、〇〇市、〇〇町では浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: D

- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知
【継続実施: 留萌市、JR】
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまちごとハザードマップの作成と周知
【継続実施: 留萌市】

課題対応: A J

- 小学生を中心とした留萌川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
【継続実施: 留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市、消防、道警、自衛隊】

課題対応: A D J

- 関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催
【継続実施: 留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市、消防、道警、自衛隊、JR】
- コミュニティFM放送やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実
【継続実施: 留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市、消防、道警】

6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: A D J

○潮静小学校(小学5年生)を対象に、昭和63年8月の大洪水の映像による振り返りや留萌防災ガイドマップによる浸水範囲や避難場所の確認及びマイ・タイムラインの作成などの防災教育を実施した。

令和2年度 留萌川(潮静小学校)での防災教育

目的：留萌川における災害とその対策について調べ、生活に与える影響の大きさとともに、洪水に備える避難行動の必要性を学ぶことを目的とする。

実施期間：令和2年8月21日（金） 6時限目

実施場所：潮静小学校

主催：留萌開発建設部 治水課

参加人数：11人（5年生）

実施内容：① 近年の水害を踏まえ、児童自身が水害に合う可能性があることを知る。
② 留萌川流域での水害を防ぐための施設や取り組みがあることを学ぶ。
③ 水害から自分に命を守る行動(避難)をするために、日ごろから備えや訓練をしておくことが大切なことを学ぶ。
(マイ・タイムラインの作成)

項目	実施内容
近年の水害発生状況	昭和63年8月留萌川大洪水災害記録《映像》 留萌川流域での水害を防ぐための施設の確認 留萌防災ガイドマップによる避難場所の確認
日頃からの備え	マイ・タイムラインで逃げ遅れゼロ《映像》 マイ・タイムラインの作成
防災グッズの説明	備えておきたい防災グッズの説明 防災グッズを詰めたリュックの体験

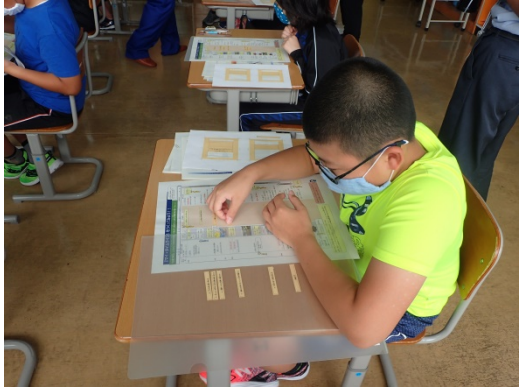
防災教育の実施状況



昭和63年8月大洪水の映像による振り返り



留萌防災ガイドマップの説明



マイ・タイムラインの作成



防災グッズを詰めたリュックの体験

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: A D J

◆ 市民に向けた防災教育（旭川地方気象台）

■ eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」（令和2年5月）

- 他人と接触せず学べる
- 専門家や経験者がいなくとも進められる内容
- 人数や実施形式に決まりなし
- WEB会議の開催・参加方法の説明資料あり



目標: START
自らの命は自らが守る

動画教材を視聴 (約15分×動画5つ)	ワークシートに記入 (概ね30分)	みんなと意見交換 (概ね30分～40分)
HOP 学習教材 基本的な知識を学ぶ	STEP 実習教材1 自宅の災害リスク 自分の避難行動を整理	JUMP 実習教材2 思い込みによる誤解や 疑問・不安を解消
 自分の好きな時間に マイペースで実施	 家族や身近な人と WEB会議で実施	



家族や身近な人と
WEB会議で実施



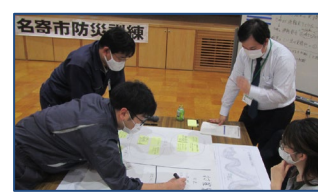
みんなで集まって
一緒に行うことも可能

◆ 市町村職員の防災対応力向上（旭川地方気象台）

■ 地方公共団体の職員を対象とする防災対応力の向上を図る取組
(令和2年11月)

防災気象情報の種類や意味を理解し、適切なタイミングでの防災体制の強化や避難に関する判断のポイントを学ぶことを目的に**気象防災ワークショップ**を開催。

実施日：令和2年11月20日(金)
場所：名寄市民文化センター
参加機関：名寄市職員
参加人数：24名
テーマ：中小河川洪水災害



6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: A D J

令和2年度に実施した取り組み内容(留萌市)

携帯電話を活用した防災情報のプッシュ配信

○ヤフー防災専用アプリ活用した避難情報・防災関連情報のプッシュ配信の開始

ヤフー防災情報アプリ



洪水ハザードマップ、避難情報内容等の周知

○「お茶の間トーク」による、町内会防災講話の開催

ハザードマップで危険区域の確認



【泉町親和会お茶の間トーク】

○1日防災学校によるハザードマップ・早期避難の周知

「防災かるた」の実施

【港北小学校】



【潮静小学校】

段ボールベッド組立体験

6. 概ね5年で実施する取組～社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

○毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施 【継続実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、道警、自衛隊、JR】

課題対応： M

○関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続
【継続実施：留萌開発建設部、旭川地方气象台、留萌振興局、留萌市、消防、道警、自衛隊、JR】

課題対応： K L O

令和元年度重要水防箇所合同巡視の概要

目的：関係防災機関同士のコミュニケーションを図ることや重要水防箇所及び危険箇所、危機管理型水位計の設置箇所の位置等の確認を目的に合同で巡視を行い、さらに水防資材について備蓄量、保管場所の確認や重要な河川管理施設(排水機場)の説明を行った。

実施日：令和元年 6月26日(水) ※R2年度は未開催

参加機関：留萌建設管理部、留萌市、留萌消防組合、留萌開発建設部 治水課、留萌開発事務所

留萌建設管理部・留萌市・留萌消防組合合同巡視の実施状況



東雲排水機場の役割と効果を説明し、排水ポンプやオイルマット等水防資材の備蓄量や保管場所について説明した。



重要水防箇所に設置されている危機管理型水位計について仕組みや情報サイトを利用した水位状況の確認方法について説明した。



越水が起こりやすい重要水防箇所及び危険箇所について現地で説明し、周辺状況や浸水範囲等の被害想定を確認した。

6. 概ね5年で実施する取組～社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

○迅速な水防活動を支援するため、中上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実
【継続実施:留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、自衛隊】

課題対応: **N**

課題対応: **○**

○的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ水防団員の確保を図る 【継続実施:留萌市、消防】
○自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認 【引き続き実施:留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、自衛隊】

水防資機材の保有状況の共有

国土交通省
北海道開発局
防災情報共有システム

緊急情報
地震情報なし
津波情報なし

絞り込み検索
検索

凡例
【防災資機材】
● 開発局
◆ 道・自治体
■ 民間

リンク
防災インターネット初期メニュー
石狩川下流域防災情報メニュー

MYページ 総合地図 カメラ情報 道路情報 河川情報 ダム情報 気象情報 地震情報 津波情報 火山情報 防災情報

災害対策本部 避難勧告指示 避難所情報 防災資機材(地図) 防災資機材(一覧)

防災資機材(地図)
地域: 留萌地区 市町村: 留萌市 表示

水防資機材の備蓄状況



災害対策本部 避難勧告指示 避難所情報 防災資機材(地図) 防災資機材(一覧)

操作手帳

地域: 留萌 市町村: 留萌市
機関: 留萌開発建設部 留萌開発事務所

用途: -- 区分: -- 更新 貸与手続
分類: -- 種別: -- CSV作成 全道一括CSV 地域CSV

チェック	分類	種類	規格	単位	数量	備考
☐	ケーブル類	コードリール	30m	個	10	
☐	シート類	ブルーシート	#3000 3.6x5.4m	枚	110	東富水防所
☐	シート類	ブルーシート	3.6m x 5.4m	枚	100	
☐	シート類	防水シート	3.6m x 5.4m	枚	130	
☐	トイレ	トイレ用テント	1人用	張	2	
☐	トイレ	携帯トイレ・排便袋	排便袋	枚	2000	
☐	トイレ	携帯トイレ・排便袋	携帯トイレ	個	200	
☐	トイレ	簡易トイレ	トイレ用便座 洋式	台	2	
☐	ボート類	エアボート		艇	1	

災害対策本部 避難勧告指示 避難所情報 防災資機材(地図) 防災資機材(一覧)

操作手帳

地域: 留萌 市町村: 幌延町
機関: 留萌開発建設部 幌延河川事務所

用途: -- 区分: -- 更新 貸与手続
分類: -- 種別: -- CSV作成 全道一括CSV 地域CSV

チェック	分類	種類	規格	単位	数量	備考
☐	ごはん・米類	アルファ米	えびピラフ260g外	食	110	
☐	ごはん・米類	レトルトパック	カレーライス外	食	120	
☐	スープ・汁物	汁缶	みそ汁	食	10	みそ汁160g
☐	スープ・汁物	汁缶	スープ缶	食	20	
☐	スープ・汁物	汁缶	フルーツ缶	食	34	
☐	パン類	パンの缶詰	カンパン及び保存パン	食	164	
☐	ポンプ機材	排水ポンプパッケージ	10m3/min	セット	1	
☐	保安用品	ロープ	100m	巻	1	
☐	土木資材	アンカーピン	麻線用 φ16mm L=120cm ~160cm	本	2043	

■ 拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

課題対応：



- 浸水想定区域内の拠点施設(警察、病院等)に対し水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進
【継続実施：留萌市、消防】

■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

課題対応：

H

P

Q

- 想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
【継続実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、道警、自衛隊】

課題対応：

Q

- 訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認
【継続実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市、消防、自衛隊】

6. 概ね5年で実施する取組～社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

課題対応: **H** **P** **Q**

- 大規模氾濫減災協議会の取り組み方針並びに緊急行動計画に基づき、「令和2年度までに、長期にわたり浸水が継続する地域などにおいて、排水計画を作成」するものとする。なお、ここで言うところの『排水計画』は、排水作業の準備にかかる計画であり、今後、『排水作業準備計画』と呼称するものとする。
- 『排水作業準備計画』は、実際の洪水時に、氾濫状況に応じて、排水作業の進め方を検討・決定する上で必要な基礎資料を事前に準備し整理しておくもの。国土交通大臣が行う特定緊急水防活動のための基礎資料ともなるもの。
- 原則、想定最大規模降雨で検討を行うこととするが、状況に応じて、まず計画規模降雨等で検討することも可とする。
- 『排水作業準備計画』は協議会等の場を通じて関係者間で共有するとともに、本資料により訓練を実施する。

留萌川 排水作業準備計画 ハンドブック（案）

【全体編】



令和2年3月

留萌開発建設部

1-1-284

